

令和4年度
北アルプス日本海広域観光連携会議

通常総会資料



期 日 令 和 4 年 6 月

会 場 書面決議

目 次

第 1 号議案	令和 3 年度事業報告について	1 ページ
第 2 号議案	令和 3 年度収入支出決算について	4 ページ
第 3 号議案	令和 4 年度事業計画（案）について	6 ページ
第 4 号議案	令和 4 年度収入支出予算（案）について	10 ページ
参考資料	構成団体名簿	
	役員名簿	
	幹事会・専門委員会名簿	
	連携会議規約	
	連携会議行動計画	

令和 3 年度 事業報告

令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月

1 会議の開催

(1) 専門委員会

- ・新型コロナウイルス感染症の状況により対面、web で 3 回開催した。

第 1 回専門委員会 令和 3 年 6 月 11 日 (web)

第 2 回専門委員会 令和 3 年 11 月 17 日 (対面)

第 3 回専門委員会 令和 4 年 1 月 26 日 (web)

(2) 幹事会

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、書面で 2 回開催した。

(3) 総会

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、書面で 1 回開催した。また、令和 4 年度負担金の改正を行ったため臨時総会を 1 回開催した。

2 取組内容

(1) マイクロツーリズム推進事業

① デジタルスタンプラリーの実施

新型コロナウイルス感染症拡大を防ぎつつ観光交流を促進するため、北アルプス日本海エリアを対象にデジタルスタンプラリーを実施。途中、新型コロナウイルス感染症が再拡大したことにより一次停止したが、感染拡大状況等を見計らい、再開した。

■実施日

令和 3 年 12 月 24 日(金)から令和 4 年 3 月 31 日(木)まで

※令和 4 年 4 月 1 日(金)から令和 4 年 5 月 31 日(火)まで、令和 4 年度事業として継続して実施予定。

■事業内容

- ・スマートフォンやタブレット端末を利用したデジタルスタンプラリーであり、北アルプス日本海エリア内の観光施設を訪問すると、GPS を利用してデジタル上のスタンプを自動で取得する。

- ・主に、北アルプス日本海広域観光連携会議を構成する 6 市町村の住民及び期間中に 6 市町村を訪れる観光客をターゲットとし、駅、博物館、美術館、温泉、道の駅、スキー場など、全 60 施設を登録。

- ・「温泉」「美術館」などの類似施設による参加コースをあらかじめ設定しており、各コースで集めたスタンプ数により、各地域の特産品等の景品を抽選し、当選者を決定。

■その他

- ・スタンプ集めやプレゼントの応募などで、接触を減らすことが可能となり、感染の拡

大防止が図られている。

・参加者の利用データは、今後のマーケティングなどにも活用が可能。

(2) 鉄道魅力発信事業

① 雪月花乗入れ

えちごトキめき鉄道株式会社と西日本旅客鉄道株式会社金沢支社のご協力を得て、JR大系線の利用促進と沿線活性化を目的に、えちごトキめきリゾート雪月花の大系線乗り入れ運行を実施。当連携会議としても、沿線の魅力発信の観点から、誘客宣伝を協力して実施した。

■実施日

令和3年11月3日

■事業内容

雪月花乗入れに係る誘客宣伝物製作を、大系線活性化協議会と協力して実施した。
(製作物品：乗車記念ボールペン・チケットホルダー・紙手旗)



(3) サイクルツーリズム推進事業

① サイクルトレインマップ製作

えちごトキめき鉄道株式会社のご協力を得て、直江津駅から市振駅間でのサイクルトレインの運行を調整。4月以降の実施に向けたパンフレット作成、情報発信を実施した。



② 輪行バッグ貸出し事業

輪行バッグ貸出し事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、事業を中止した。

(4) シャトルバス運行事業

冬季、Hakuba Valley に滞在する日本人観光客や在日外国人及び住民を、白馬一糸魚川間をシャトルバスで繋ぎ、エリア内の観光流動の創出を図るため、お食事券付きシャトルバスとして実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により事業を中止した。

(5) その他

北アルプス日本海広域観光連携会議のHP や SNS 等で、各市町村の見どころや事業に関する内容について、情報発信を行った。

令和3年度 収入支出決算

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比 較	説 明
	6,289,000	3,144,500	△ 3,144,500	
1. 負担金	4,000,000	2,000,000	△ 2,000,000	糸魚川市 (負担額の1/2)
	630,000	315,000	△ 315,000	上越市 (負担額の1/2)
	890,000	445,000	△ 445,000	大町市 (負担額の1/2)
	275,000	137,500	△ 137,500	白馬村 (負担額の1/2)
	94,000	47,000	△ 47,000	小谷村 (負担額の1/2)
	400,000	200,000	△ 200,000	朝日町 (負担額の1/2)
2. 雑収入	5,017	828	△ 4,189	預金利息 13円 (8/15) 預金利息 23円 (2/13) 手数料返金 792円
3. 繰越金	2,425,983	2,425,983	0	
計	8,720,000	5,571,311	△ 3,148,689	

【支出の部】

科 目	予算額	決算額	比 較	説 明
1. 事業費	6,450,000	1,809,220	△ 4,640,780	
マイクロツーリズム推進事業	2,150,000	1,392,292	△ 757,708	デジタルスタンプラリー
鉄道魅力発信事業	2,000,000	189,944	△ 1,810,056	雪月花乗入れ誘客宣伝費
サイクルツーリズム推進事業	1,800,000	126,984	△ 1,673,016	サイクルトレインマップ作成
シャトルバス運行事業	300,000	0	△ 300,000	実施なし
ホームページ等管理	200,000	100,000	△ 100,000	HP・SNS情報発信費用
2. 連携会議運営費	270,000	100,792	△ 169,208	
会議費	40,000	0	△ 40,000	総会、会議等は書面・ZOOM開催
事務委託費	200,000	100,792	△ 99,208	事務・運営委託
事務通信費	30,000	0	△ 30,000	
3. 予備費	2,000,000	0	△ 2,000,000	
予備費	2,000,000	0	△ 2,000,000	
計	8,720,000	1,910,012	△ 6,809,988	

事業計画、執行状況等に応じて、科目間の流用を行えるものとする。

収入5,571,311円-支出1,910,012円=差引3,661,299円は次年度に繰り越す

監査報告書

令和3年度収入支出決算について、関係書類及び諸帳簿を監査した結果、適正かつ正確に処理されていることを確認しました。

令和4年 5月27日

監事

新潟県糸魚川地域振興局 局長

福岡 肇 

令和4年 5月17日

監事

大町商工会議所 会頭

坂中 正男 

令和4年度 事業計画(案)

■観光誘客促進事業

1 趣旨

アフターコロナを見据えた、インバウンド誘客に対応していくため、まずはマイクロツーリズムを中心とし、6市町村を周遊するデジタルスタンプラリーを取り組んできた。

今年度は、引き続き6市町村を周遊するデジタルスタンプラリーを継続するとともに、インバウンド需要喚起に向けた、海外向けの情報発信事業に取り組む。

2 事業計画

(1)エリア周遊促進事業（継続）

6市町村管内における観光客の周遊促進を行うため、デジタルスタンプラリーを継続して実施する。

①実施時期：令和4年4月1日から令和4年5月31日まで

②ターゲット：全国

③事業概要

- ・6市町村内の観光施設等にデジタルスタンプを取得する二次元コードを印字したポスター及びチラシを設置。
- ・利用者は、スマートフォンやタブレットなどの端末から設置されている二次元コードを読み込み、年齢、性別、居住지를登録し、スタンプを取得する。
- ・各施設でGPSにより位置情報を取得し、スタンプサイト上でスタンプを押印する。
- ・スタンプの数に応じ、6市町村の特産品が抽選に応募ができる。
- ・利用者属性などの情報は今後のプロモーション活動に活用していく。

(2)インバウンド誘客促進事業（拡充）

訪日プロモーション地方連携事業の素材を活用し、6市町村の観光素材を改めてまとめるとともに、現地または国内の旅行会社への商談等によりプロモーションと誘客につなげる。

また、台湾人向けメディア、SNS等を活用した6市町村の観光情報を掲載、PRし、アフターコロナを見据えた情報発信を実施する。

①実施時期：通年

②ターゲット：台湾

③事業概要

- ・これまで行ってきた訪日プロモーション素材の整理、更新を行い、国内に支店のある旅行会社への営業や商談会等に参加し、誘客促進を行う。
- ・台湾人向けメディア（web広告）へ6市町村の観光情報掲載を行う。
- ・北アルプス日本海広域観光連携会議フェイスブックやSNS広告などにも同様に広告を展開し、6市町村の魅力を継続的に発信する。

3 スケジュール

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
エリア周遊促進事業	→											
インバウンド誘客促進事業			→									

4 事業費（概算）

令和4年度	予算
エリア周遊促進事業	1,353,500
インバウンド誘客促進事業	1,700,000
合計	3,053,500

■鉄道魅力発信事業

1 趣旨

3つの鉄道路線（JR大糸線、日本海ひすいライン、あいの風とやま鉄道線）の見どころをまとめ、乗車することで魅力を実感できるマップ（デジタル含む）を作成し、キャンペーンを行うことで、エリア内の特徴的な鉄道の魅力を発信し、6市町村への来訪意欲を創出する。

2 事業計画

(1) 鉄道の見どころマップ作成事業（新規）

各路線の鉄道の見どころや魅力をまとめた、「鉄道マップ」を、鉄道ファンや鉄道事業者（運転士・乗務員など）の協力により作成し、鉄道の利用促進につなげる。

また、作成したマップは、今後のキャンペーンでも活用を行う。

- ① 実施時期：通年
- ② ターゲット：鉄道ファン（ライト層を含む）
- ③ 事業概要

- ・3つの鉄道路線の見どころ、魅力をまとめた鉄道周遊マップを作成。
- ・鉄道に関する魅力的スポットの紹介、鉄道に関する情報、運転手さんや乗務員さんのうんちくなどを掲載予定。

(2) 鉄道利用促進キャンペーン事業（拡充）

鉄道乗車を条件としたプレゼントキャンペーン、有名人活用やSNSによる魅力の拡散などを実施し、鉄道の利用促進を行う。

- ① 実施時期：令和4年8月から令和4年11月（マップ作成後、観光周遊事業でない時期）
- ② ターゲット：鉄道ファン
- ③ 事業概要

- ・過去好評であった鉄道限定グッズをプレゼントとして用意したキャンペーンを実施。
- ・利用者は期間内に指定区間を乗車した際、乗車券を窓口に提出することでアンケート用紙に必要事項を記入し、プレゼントを受け取る。
- ・プレゼントは複数種類作成し、乗車券1枚につき1つと交換する。プレゼントの在庫がなくなり次第、キャンペーンを終了する。
- ・キャンペーンの情報拡散、魅力発信として鉄道好き有名人やSNSを活用した情報発信なども実施。

3 スケジュール

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
鉄道のみどころマップ作成事業			—————▶											
鉄道利用促進キャンペーン事業					—————▶									

4 事業費（概算）

令和4年度	予算
鉄道のみどころマップ作成事業	400,000
鉄道利用促進キャンペーン事業	1,600,000
合計	2,000,000

5 その他

本事業に関しては、大糸線活性化協議会等の団体と連携して事業推進を行う。

■サイクルツーリズム推進事業

1 趣旨

6市町村の広域的なサイクリングロードによる誘客を図るため、サイクリングメディアを活用した情報発信や、関連事業者と連携した輪行バッグ貸出し、鉄道事業者と連携したサイクルトレインの運行を行う。
また、国や県、久比岐自転車道魅力アップ実行委員会などの関係団体とも連携し、国内外へ向けた誘客を図る。

2 事業計画

(1)輪行バッグ貸出し事業（継続）

令和元年度まで行っていた輪行バッグの貸出しを再開し、親不知や姫川溪谷を鉄道により結ぶことで、6市町村内における広域的なサイクリング利用の利便性の向上と、サイクリストの誘客促進を行う。

- ①実施時期：令和4年6月から令和4年11月まで
※ただし、新型コロナウイルス感染症の状況により実施判断する
- ②ターゲット：国内、台湾
- ③事業概要

- ・6市町村主要駅（直江津駅、糸魚川駅、越中宮崎駅、南小谷駅、白馬駅、信濃大町駅）周辺の観光案内所等で輪行バッグの貸出・返却の受付を行う。（窓口は要調整）
- ・レンタル料金は無料とする。
- ・輪行バッグが一方の窓口に偏った場合は、過不足が生じる窓口同士で調整する。
- ・輪行バッグの送料は北アルプス日本海広域観光連携会議で負担する。

(2)サイクルトレイン運行事業（拡充）

サイクルツーリズムの推進とサイクリストの利便性向上を目的として、鉄道事業者や関係事業者と連携しながらサイクルトレイン運行を実施し、各サイクルルートへの送客促進につなげる。

- ①実施時期：日本海ひすいライン区間 令和4年4月～11月（予定）
JR大糸線区間、あいの風とやま鉄道線区間については引き続き協議する。
- ②ターゲット：国内、台湾
- ③事業概要

- ・サイクルトレイン実施に係る誘客宣伝（チラシ、パンフレット作成など）を支援する。
- ・あいの風とやま鉄道区間は、えちごトキめき鉄道と連携して実施に向け調整する。
- ・JR大糸線区間は、JR西日本、大糸線活性化協議会等と連携して実施に向けて調整する。

（えちごトキめき鉄道が実施しているサイクルトレイン概要）

- 期間 令和4年4月20日～令和4年11月30日まで
- 区間 市振駅～直江津駅まで（浦本・筒石駅を除く）
- 時間 直江津駅9：45～14：25の間に発する下り列車、市振駅9：29～15：06の間に発する上り列車及び観光急行
- 料金 通常の運賃のほか、積込料金として290円が必要。
- その他 自転車は、そのままの状態ですぐに車両へ載せることが可能。

(3) サイクルメディアFAMトリップ事業（新規）

主にサイクリングをメインにしたメディアを招聘し、6市町村のサイクリングロード及び沿線観光地を巡るモニターツアーを実施し、専門誌への掲載等を通じた情報発信を行う。

- ① 実施時期：FAMトリップ事業 令和4年7月～8月
記事掲載 令和4年9月～令和5年3月

② ターゲット：国内、台湾

③ 事業概要

・サイクリング専門誌などのメディアを招聘し、6市町村のサイクリングロード及び沿線観光地取材するとともに、記事掲載等による情報発信により誘客を行う。

3 スケジュール

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
輪行バッグ貸出し事業			→									
サイクルトレイン運行事業	→											
サイクルメディアFAMトリップ事業				→			→					

4 事業費（概算）

令和4年度	予算
輪行バッグ貸出し事業	150,000
サイクルトレイン運行事業	700,000
サイクルメディアFAMトリップ事業	1,200,000
合計	2,050,000

5 その他

本事業に関しては、大系線活性化協議会等の団体と連携して事業推進を行う

令和4年度 収入支出予算（案）

【収入の部】

(単位：円)

科 目	R4予算額	R3予算額	比 較	説 明
	5,858,000	6,289,000	△ 431,000	
1. 負担金	4,000,000	4,000,000	0	糸魚川市
	577,000	630,000	△ 53,000	上越市
	694,000	890,000	△ 196,000	大町市
	222,000	275,000	△ 53,000	白馬村
	70,000	94,000	△ 24,000	小谷村
	295,000	400,000	△ 105,000	朝日町
2. 雑収入	1,701	5,017	△ 3,316	総会交流会費、預金利息
3. 繰越金	3,661,299	2,425,983	1,235,316	
計	9,521,000	8,720,000	801,000	

【支出の部】

科 目	R4予算額	R3予算額	比 較	説 明
1. 事業費	7,303,500	6,450,000	853,500	
観光誘客促進事業	3,053,500	2,150,000	903,500	デジタルスタンプラリー（継続） インバウンド（台湾向け）情報発信
鉄道魅力発信事業	2,000,000	2,000,000	0	鉄道みどころマップ作成 鉄道利用促進キャンペーン
サイクルツーリズム推進事業	2,050,000	1,800,000	250,000	輪行バッグ貸出事業 サイクルトレイン運行事業 サイクルメディアFAMトリップ事業
シャトルバス運行事業	0	300,000	△ 300,000	シーフードシャトルバスの推進
ホームページ等管理	200,000	200,000	0	SNS情報発信費用
2. 連携会議運営費	270,000	270,000	0	
会議費	40,000	40,000	0	総会、交流会等
事務委託費	200,000	200,000	0	糸魚川市観光協会委託
事務通信費	30,000	30,000	0	消耗品、事務通信費等
3. 予備費	1,947,500	2,000,000	△ 52,500	
予備費	1,947,500	2,000,000	△ 52,500	
計	9,521,000	8,720,000	801,000	

事業計画、執行状況等に応じて、科目間の流用を行えるものとする。